

民 法

平成23年10月29日（土） 13:00～16:30

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
2. 問題用紙は1枚、解答用紙は4枚（各問について2枚）、下書き用紙は2枚です。
3. 解答用紙には、熊本大学大学院法曹養成研究科の受験番号のみを記入し、氏名は記入しないで下さい。
4. 解答用紙は、第1問と第2問とで異なります。それぞれ正しい用紙に解答して下さい。
5. 解答は横書きにして、各問につき2枚の解答用紙（裏面使用も可）に収めて下さい。解答用紙の追加・交換はしません。
6. 解答にはボールペンまたは鉛筆を使用して下さい。
7. 問題の内容に関する質問には応じません。
8. 貸与した六法に書き込みをしてはいけません。
9. 試験終了後、問題用紙および下書き用紙は持ち帰って下さい。

【第1問】 以下の事案について、問いに答えなさい。（配点：75点）

- 1 乙は、Aから鮮魚店を開業する目的で土地を購入した際に、間口が広がるよう隣地のX土地を購入して所有権移転登記を了した。
- 2 甲はX土地の奥に位置するY土地を所有し、同地上に建物を所有している。これは、6年前に丙から譲渡を受けたものである。
- 3 甲は購入時から、公道からY土地への進入路としてX土地を使用している。これは、甲の前主丙の使用状況をそのまま引き継いだものである。
- 4 丙のX土地の使用状況は以下のとおりである。
丙は、甲がY土地を購入した20数年前から、X土地をY土地への専用進入路として使用していたが、甲がY土地を購入した15年前に自らコンクリート舗装し使用していたものである。
- 5 乙は、甲がX土地を専用進入路としてコンクリート舗装した状態で利用していること、これを利用できないと公道からの進入路を確保することが著しく困難となることを知りながら、X土地を取得したものであった。

乙は甲に対し、X土地の所有権の確認を求めるとともに、コンクリート舗装の撤去を求めた。これに対して、甲はどのような主張をなしうるか。甲、乙の法律関係について検討しなさい。

なお、袋地通行権については検討しなくてよい。

【第2問】 以下の事案について、問いに答えなさい。（配点：75点）

Aは、他に転売する目的でBから商品（扇子300本）を買い入れる契約をした。Bの従業員Cは、Bから履行期にその商品をAに納入するように命じられていたが、うっかりして履行期を徒過してしまったまま納入していない。Aは、商品の価格が高騰したので、〇月〇日迄に履行せよとBに催告した。しかし、履行済みと信じていたBは、何かの間違いだと思って、この催告期間を徒過した。

その後、商品の価格が暴落したので、Aは契約を解除し、最も商品価格の高騰していたときの価格を算定し、それから売買代金を差し引いた金額を損害額として、その賠償をBに請求した。

この場合において、Aの請求は正当か。

また、Bから最低価格を主張して損害額の軽減を求めえないか検討しながら、最終的な結論を述べなさい。

さらに、Aは、Cに対しても、責任を追及することができるか。

以上